

事業名 日光市ウォーキングトレイル事業

人々が自らの足で大地を踏みしめ、楽しみながら自然と歴史資産を巡ることにより、日光の真の魅力に触れることができる「もうひとつの日光」日光市ウォーキングトレイル事業は、市民や多くの観光客から評価の高い事業

受賞機関 日光市建設課

事業実施期間 平成9年4月1日～平成13年3月31日

事業費 940百万円

事業等の特徴

地域の住民を中心とした委員会の提案に基づき、「歩いて楽しむ環境づくり」として、歩行者のための道路整備を行うとともに、他機関と協力し、地域内の歴史的・文化的資産の保存と再生、散策ルートのネットワーク化、ポケットパークの設置などを行っている。事業完了後も意見交換の場としての協議会を設置し、さらなる改良やソフト面での活動、緑化・清掃等の住民の協力等について協議を行い、フォローを行っている。

事業の概要と利用者等の評価

日光市では、平成元年から「地域住民によるまちづくり」を実践するため市内を5地区（湯元、中宮祠、清滝、西町、東町）に大別し、地域の持つ歴史・文化・生活環境等の特性を反映させた活性化策の検討を開始した。このような状況のなか、地域住民を中心に「西町活性化推進委員会」が平成5年に発足され、およそ2ヵ年にわたり活発な議論が行われた。同委員会は、地域の将来を託す活性化策として、「歩いて楽しむ環境づくり」を市に提案、さらに、地域内の歴史的・文化的資産の保存と再生、散策ルートのネットワーク化、ポケットパークの設置などの具体案を以下のとおり提示した。

- ・訪れた人々が、自然景観や地域の歴史・文化・生活に触れることのできる、快適で安全な歩く人のための道づくりがなされている。
- ・事業計画策定において委員会を組織し、地域住民やボランティア・専門家・関係官庁、さらにデザイナーなどの意見を積極的に取り入れた。
- ・事業完了後の利用者支援策として活用協議会を設置、幅広く地域の意見や要望を取り入れるとともに



大日橋（自転車歩行者橋）



日光田母沢御用邸記念公園前（歩道設置）

に、PR活動にも力を入れている。

審査委員会委員の意見等

- ・環境対策や高齢化対策にも寄与する「歩いて楽しむ街づくり」を推進し、周辺の観光客の増加に着実な効果を上げている点や市内を5地区に分けきめ細やかな活性化策を検討している点が評価できる。
- ・計画段階から地域住民の意見に基づき整備を行い、完了後も地域住民の要望を取り入れ、観光客が増えていることは評価できる。
- ・地域との協働プロジェクトである点を評価する。ソフト（パンフレット等）とイベントの組み合わせもうまく、入込者数の増加に貢献している。
- ・地域の住民が主体となって2年間をかけて「歩いて楽しむ環境づくり」についての提案をし、さらに地域内の歴史的・文化的資産の保存と再生などについて具体案も提案し、それを行政で実践化した。その後も住民が維持管理に積極的に関わっていることを評価したい。
- ・地域の活性化策として、交流産業振興は必須の条件である。この事業は点と点を結び付けていく策として有効であり“道”を美しく整えていくため、地域住民と行政の共有意識ともつながっている。

受賞賛助会員 川田建設(株)栃木営業所、日本舗道(株)栃木支店